

平成28年

季刊

新春号

Vol.56

亞東



協会役員 沈斯淳代表を表敬訪問（平成28年1月12日）



一般社団法人亞東親善協会

The East Asian Friendship Association

一般社団法人亜東親善協会の概要

名称 一般社団法人亜東親善協会

(英名 The East Asian Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七―五 砂防会館四階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに我が国とアジア諸国との

経済、文化の提携、交流を通じ、友好親善の増進を図る。

事業

① 我が国とアジア地域諸国との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 我が国とアジア地域諸国との文化、芸術の相互の紹介

③ 我が国とアジア地域諸国との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住するアジア地域諸国民の生活相談

⑤ アジア地域諸国からの在日留学生にたいする進学の斡旋

⑥ その他本会の目的を達成するために必要な事業

亜東親善協会の変遷

社団法人亜東親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年 東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら發起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任されました。

二〇一三年二月、安倍会長の意を受け、会長代行・大江康弘参議院議員が会長を引き継がれ就任されました。現在、領土問題等の紛争、北朝鮮の核問題、発展に伴う水・エネルギー環境問題なども山積しております。

アジアの繁栄と平和に貢献するために、本協会員一同、役員陣容を強化し、新会長のもと、叡智を結集し努力を続けております。

| | |
|-------------------------------|-----|
| 一般社団法人亜東親善協会・概要・変遷 | 二頁 |
| 目次・協会役員名簿 | 三頁 |
| 大江会長の新年のあいさつ | 四頁 |
| 沈斯淳・駐日代表 | 六頁 |
| 二〇一六年元旦祝辞 | 七頁 |
| 台湾立法委員長王金平氏と 亜東親善協会訪台団との会見 | 七頁 |
| 「新春雑感」 | 一〇頁 |
| 「国会見学の感想」 | 一一頁 |
| 平成二七年台湾訪問の旅に参加して | 一三頁 |
| 平成二八年謹賀新年名刺広告 | 一五頁 |
| 事務局だより | 一九頁 |

平成27年12月31日現在

一般社団法人亜東親善協会役員名簿

| | | | | | | | |
|------------|-------|--------|-------|-------|---------|--|--|
| 名誉会長（理事以外） | 1名 | 玉澤徳一郎 | | | | | |
| 参 与（理事以外） | 1名 | 橋本 靖男 | | | | | |
| 会 長（代表理事） | 1名 | 大江 康弘 | | | | | |
| 副 会 長（理 事） | 3名 | 張 建国 | 張 碧華 | 千葉 健司 | | | |
| 専務理事 | 1名 | 崎谷 秀彦 | | | | | |
| 業務執行理事 | 4名 | 赤松 則宏 | 藤山 雅康 | 池本 好伸 | 笹岡（朱）恭亮 | | |
| 理 事 | 16名 | | | | | | |
| 小松 省二 | 新井 秀子 | 南部 晴彦 | 益山 茂 | 松永理恵子 | 多 忠和 | | |
| 三浦 信行 | 並木 正芳 | 伊野 雅晴 | 柴田 徳文 | 山口 裕志 | 森 康郎 | | |
| 矢野 哲朗 | 鶴保 庸介 | 永島 剛士 | 小山 博史 | | | | |
| 監 事 | 2名 | 李 ハロルド | 鈴木 慶一 | | | | |
| 事 務 局 | | 崎谷 秀彦 | 李 孔晔 | | | | |

歴代の会長

岸 信介（最高顧問） 千葉 三郎（初代会長） 原 文兵衛（二代会長） 藤尾 正行（三代会長）
 玉澤徳一郎（四代会長） 安倍 晋三（五代目会長）

設立発起人（敬称略・順不同）

千葉 三郎 安岡 正篤 有末 精三 矢口 麓蔵
 陣 礼 桂 周 祥 廣 李 合 珠

歴代の主な役員（敬称略・順不同）

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 岸 信介 | 賀屋 興宣 | 石井光次郎 | 船田 中 | 福田 越夫 | 椎名悦三郎 | 灘尾 弘吉 | 野田 卯一 |
| 林田悠紀夫 | 林 大幹 | 原 文兵衛 | 堀越 禎三 | 板垣 修 | 竹内 寿平 | 牛場 信彦 | 板倉 俊雄 |
| 後藤 利雄 | 町村 金五 | 高瀬 侍郎 | 後藤 正夫 | | | | |
| 何 応 欽 | 馬 樹 禮 | 洪 萬 | 張 和 祥 | 劉 天 禄 | 謝 駿 豪 | 呉 笑 安 | 汪 少 庭 |
| 林 金 莖 | 呉 泗 村 | 詹 明 星 | 紀 興 東 | 許 禎 祥 | 莊 銘 耀 | 徐 仁 傑 | 許 水 德 |
| 羅 福 全 | 林 以 文 | 陳 正 枝 | 郭 茂 林 | 蔡 福 江 | 馬 紀 壯 | 李 瑞 乾 | 劉 介 宙 |

[理 事]

| | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田中 栄一 | 井狩弥治郎 | 椋木麿磨太 | 青山 豊久 | 中田豊千代 | 三石 照雄 | 寺部 震 | 西川捨三郎 |
| 堀 涉 | 伊吹弥寿夫 | 関口 孝 | 森田 大耕 | | | | |
| 李 進 發 | 吳 柏 堂 | 張 蔡 枝 | 林 義 雄 | 張 湖 順 | 陳 清 波 | 薛 國 樑 | 朱 阿 庭 |
| 張 子 敬 | 郭 少 阿 | 蔡 元 | 朱 文 元 | 馮 汝 城 | 堤 志 明 | 毛 松 年 | 少 功 軍 |
| 連 惠 文 | 陳 阿 合 | | | | | | |

大江会長の新年のあいさつ

会長 大江 康弘



新年明けましておめでとう
ございます。会員、御家族の
皆さまには お健やかに新年
を迎えられました事、心より
お慶び申し上げます。昨年は
協会の活動、運営に多大なご

理解とご支援を賜りました事、厚く御礼申し上げます。この
挨拶文が皆さま方に届く頃には中華民国台湾も新しい国家の
リーダーが誕生していると思います。どのような方が総統に
なろうとどの政党が政権を担おうと私共の協会、又、日本国
の考え方は唯一つ、それは「中華民国台湾の国民二三〇〇万
人が民主的なルールで選ばれた結果を尊重し、しっかりと受
け入れて今の良好な二国間関係を更に充実発展させていく」
という事であります。振り返って一九九六年 時の李登輝総
統は初めて総統直接選挙を実施、五四%の得票率で当選し、
中華民国台湾の歴史上 初めての民選総統としての第九期総
統に就任され名実共に中華民国台湾は世界に向けて民主国家
としての第一歩を踏み出したのであります。唯、この時中
華人民共和国はこの選挙に際して台湾の独立を推進するもの
として反発し、総統選挙に合わせて「海峡九六一」と称され
る軍事演習を実施し、ミサイル発射実験をおこなったが当時

の米国防空軍は、二隻の航空母艦を台湾海峡に派遣
し、中華人民共和国を牽制、これを機に兩岸の緊張度が一気
に高まったことは記憶に新しいことと思います。その後の
二〇〇〇年の総統選挙では李登輝総統の後継者として連戦氏
が出馬するが、国民党を離党した宋楚瑜氏が総統選に参戦、
三氏の争いになったが国民投票が分裂した事によって最終的
には民主進歩党（民新党）の陳水扁氏が当選し、第一〇期中
華民国総統に就任、中華民国が初めて平和的な政権移譲を
現した事によってあらためて、民主国家としての存在を世界
に知らしめた大変大きなターニングポイントであったと思
います。そして、二期
八年陳水扁政権が続
き、八年前に国民党
の馬英九政権が誕
生、再び平和的な政
権移譲により、内外
共に民主国家台湾と
しての地歩を固めた
のは皆さん周知の事
と存じます。そし
て、今回の総統選
挙、立法院選挙の結
果の行方は、今日現



在は分かりませんが我々の盟友国家である中華民国台湾が一日一日、一年一年しつかりと民主国家として歩んでいることを大変嬉しく喜ばしいと思う一人です。さて、日本も今年も夏には参議院選挙があります。二年半前の前回の選挙では皆さんに大変お世話になりながらも私の力不足で結果を出すことが出来ずご迷惑をおかけしました。しかし、私自身としては「失敗という経験」を与えられた事によって、あらためて外交の基本は「民間外交（一人一人が民間大使として）」との思いを強くした次第です。それまでは政治の舞台、政治の現場でしか中華民国台湾との関係が築けなかった訳ですが、野に下り、政治の現場を離れてみて、いかに多くの民間の皆さんが毎日毎日それぞれの立場で、仕事を通じ人間関係を通じてお互いの国同士のつき合いを広げ、強くされているかを感じ知らされました。又、私も会長という立場でそれまで以上に多くの皆さんと接する機会が増え、お互いの立場の距離感が縮まったことは大変良かったと思います。私が政治の場を離れても中華民国台湾政府のみなさん（もちろん白金の駐日大使館も含めて）や王金平立法院長や李鴻鈞台日議連会長始め政治家の皆さん、行政関係の皆さん、又、経済界の皆さんや多くの友人の皆さんが全く変わらず今日まで接してくれた事に心より感謝と御礼を申し上げます。私は、その変わらぬ皆さんの友情に答えるために再び政治の現場に戻る決意を致しました。昨年は「自由民主党公認」も決定し、もう一度

この夏の参議院選挙に出馬し、今度こそはしつかりと結果、答えを出して、再び政治の現場に戻りこの三年間の経験を生かし協会の皆さんの協力のもと新たな日台関係の発展のため全力を尽くしていきたいと決意しています。私にとりましては「生命」と呼べる国、中華民国台湾との友好、親善に新たな決意のもと、力の限り取り組んで参る所存です。どうか本年も会員各位、又、各関係機関、そして協力関係にある友好団体の皆さんの更なるご指導とご協力をお願い申し上げます。第です。あらためて、本年の皆さま方の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます、新年のご挨拶と致します。



沈斯淳・駐日代表 二〇一六年元旦祝辞

台北駐日経済文化代表処 沈 斯淳

亜東親善協会の皆様、謹んで新年のお祝いを申し上げます。



中華民國（台湾）と日本に
とって、また皆様にとって、

今年一年がすばらしい年となるよう、心より願っております。

今年（申（猿）年）は申（猿）年です。申年は勝負に勝つ年、すなわち「勝る（マサル）」年でもあるそうです。また「申」には「果実が成熟して固まって行く状態」の意味もあり、ここ四〇年余りの台湾と日本の関係は、まさにこのような状況にあると言えることができ、今年（申）は双方にとり、いままでのどの年にも勝る年であることが期待されます。

台日間の人的往来は、年々拡大しており、年間五〇〇万人の大台も話題になっております。また、昨年六月に東京・虎ノ門に開館した台北駐日経済文化代表処「台湾文化センター」は、台湾文化の発信基地として重要な役割を果たしており、一方、今年の一〇月には、台湾・嘉義県の国立故宮博物院南部分院で、東京と九州の国立博物館所蔵の美術品の特

別展を開催し、日本美術の粋を台湾の人々に観賞してもらいます。このような文化交流は、双方が成熟した友好関係にあることを物語っています。

台湾と日本は、かけがえない貿易上のパートナーです。双方は、この四〇年余りの間に、六一項目の協定や覚書に調印し、そのうち「オープンスカイ」、「投資協議」、「漁業協議」、「二重課税回避協定」などは、馬英九総統就任後に調印したものです。これらは自由、民主、法治、人権などの基本的価値観とともに、双方の共通の資産であり、双方の連携を強める重要な土台となっております。今後とも、この指針を堅持し、お互いの発展のために、力を尽くしたいと思います。

昨年一〇月、TPPが大筋で合意されましたが、台湾も早期の参加を目指しており、今後とも日本の皆様のご支援を期待しております。また、我々は、医療、防災、環境保護、気候変動などの分野で、日本を含めた各国と協力し、地域の安定と繁栄のために「ピースメーカー」として、積極的な役割を果たしていく所存ですので、日本各界の皆様の更なるご支持ご支援をお願いいたします。

結びに、台湾と日本の友好関係の一層の発展、及び皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。

二〇一五年一〇月亜東親善協会訪台団と王金平立法 委員長が会見した件に関して

内容

亜東親善協会会長 大江康弘一行二八人は、亜東関係協会
張仁久秘書長の陪席のもと、二〇一五年一〇月二三日午
後、王立法院長や李鴻鈞立法委員、陳錫欽立法院秘書處處長
等と接見しました。

王立法院長は、先ず一行の訪問を歓迎しました。それから、
一九四九年に設立された亜東親善協会の歴代会長は、王立法
院長の古くからの友人でもある旨お話しされました。

そして、第五代会長 安倍晋三会長が日本国の総理大臣に
就任するにあたり、その後任を大江康弘現会長に委ねたこと
も話されました。

この亜東親善協会は、台湾と日本の二国間の民間交流の推
進に尽力しており、様々な成果が生まれて来ていること。そ
して現在、台日関係は過去最高の関係に至っている旨も話さ
れました。

王立法院長は、大江康弘現会長は、長年に渡り台日関係に
とても深い関心を持ち、またその解決に尽力されており、
二〇〇二年以来の大江会長の訪台は延べ三七回になる旨おっ
しゃいました。

更には、大江会長が参議院議員在籍中には、以下に記す台
日間の重要案件の解決と達成に尽力された旨おっしゃいまし
た。

1 文化交流

日本国は、二〇一一年に「海外美術品等公
開促進法」を成案させました。この法律に
より、国立故宮博物院の日本国での展覧と
その宝物の保障が確立されました。

そして昨年二〇一四年には国立故宮博物院
の宝物が東京の国立博物館と、その後、福
岡国立博物館で展示されました。

そして、来年二〇一六年には、国立故宮博
物院南院において「日本宮廷美術精選品」
の展示がなされる予定です。

2 観光

日本国の「オープンスカイ」政策により、
二〇一四年には台日間の訪問者数が四六〇
万人を超えました。更に今年二〇一五年に
は、その数が五〇〇万人を超えると推測さ
れています。

3 青年交流

台日間には、それぞれ二〇〇〇名の青年を
受け入れています。そんな青年達は、それ
ぞれの地でアルバイトをしたりして過ごし
ています。

今後は、この定員を五〇〇〇名に拡大し

て、青年達が台湾や日本の政治や経済や社会を学び、それぞれの更なる知識の深化と交流を図ることが、台日関係をより良好にしていくものと思います。

王立法院長は更に、今後の台日関係の更なる飛躍の為に

も、大江会長が
来年の参議院選
挙において是非
当選して国会に
戻って活躍して
欲しいし、今日
この場に臨席し
ている各員も、
大江会長の再選
の為に尽力して
欲しい旨おっ
しゃいました。

これらの王立
法院長のお話し
に対して、大江
康弘亜東親善協



会会長は、先ずは、ご多忙にも拘らず接見の時間を作って下さった王立法院長に謝意を述べました。そして、台湾に来る都度に、まるで故郷台湾と言うより自国に戻って来た感じがします。特に現在、政治の場から離れているにも拘らず、私が亜東親善協会の一行と訪台する毎、王立法院長や李鴻欽立法委員は、私が現役の参議院議員の時と変わらない心温まる接遇をして下さることに深甚なる感謝の意を申し上げます、と述べました。

そして、これからも亜東親善協会設立の趣旨である台日の友好親善の為に、更には、私は「外交の基本は民間外交に在る」と確信していますので、来年七月の参議院選挙で議員として再選させて頂いた暁には、台湾と日本の関係の深化と推進の為に、参議院議員としては政府の立場で、更には亜東親善会長としては民間の立場でも、頑張つて参る所存です、と更なる決意を表明されました。

王立法院長や大江会長等の懇談は四五分にもおよびました。その後、贈り物の交換や記念撮影を行い、一行の接見を終了しました。

(立法院の報告書を翻訳)

王院長接見日本「亞東親善協會」會長大江康弘一行

內容：

日本「亞東親善協會」會長大江康弘等一行 28 人，在亞東關係協會秘書長張仁久陪同下，於 104 年 10 月 23 日下午蒞院拜會，由王院長親自接見，本院委員李鴻鈞、秘書處處長陳錫欽等人陪同接見。

王院長首先歡迎訪賓一行，並表示「亞東親善協會」於 1949 年成立後，歷屆會長中有多位均為渠之老朋友。安倍晉三原已接任第 5 任會長，惟因當選首相而辭去會長職務，後由大江康弘前參議員續任之。該協會致力於推動台日雙邊民間交流，成果豐碩，使台日關係達到新的高峰。

王院長表示，大江會長長年關心台灣事務，自 2002 年起訪台 37 次，過去擔任參議員期間給予台灣諸多協助，促成台日間達成以下重要成果：1.在文化交流方面，日本國會於 2011 年通過「海外美術品等公開促進法」，為我故宮文物赴日展出提供保障，去(103)年先後赴東京及福岡展出，而東京國立博物館及九州國立博物館則預定於明(105)年在我故宮博物院南院回展「日本宮廷美術精選品」；2.在觀光方面，因為「開放天空」政策，使去(103)年台日往來人數逾 460 萬人次，今(104)年雙向觀光人次則可望突破 500 萬人次；3.在青年交流方面，台日間每年原各有 2,000 個名額赴彼此國家進行度假打工，自去年 10 月起雙方已同意將名額增加為 5,000 名，將有助於雙方青年更加增進對彼此政經社會發展現況之瞭解。

王院長復表示，渠了解大江會長明(104)年將再次參與參議院選舉，盼各位訪賓全力支持大江會長，促成渠東山再起、重返國會。

大江會長感謝王院長於百忙之中撥冗接見，並表示每一次來台就像回家一樣，特別是在離開政壇的這段期間，每次率「亞東親善協會」成員來院拜會時，王院長及李委員依舊給予最熱誠的接待，渠深表感謝。該協會成立之宗旨係維護台日友誼，除了

政府間的往來，台日關係最堅實的基礎乃來自於民間，若渠明(104)年 7 月能夠有幸

重返日本政壇，將持續從政府及民間兩方面推動台日雙邊關係之深化。

雙方晤談約進行 45 分鐘，並在贈禮及合影後結束拜會行程。

「新春雑感」

副会長 張 建国

新年明けましておめでとう
ございます。



大変暖かい年末年始になって
おりますが、台湾でも、こ
の冬は記録的に暖かい日が多
くなっているようです。台湾

では一月一日の元旦は、新しい年の初めではありますが、休日としては一日だけで、お正月は旧暦（春節）で祝いますので、今年は二月八日が春節になります。春節前の今の時期は年末であり、忘年会もこれからです。春節の前後の年末年始の休みは、一般的には大晦日前日の土曜日の二月六日から旧暦の一月七日である二月一四日（日）まで、そして、旧暦一月一五日が元宵節、この日にあわせて台湾各地でランタンフェスティバルが催されていますので、春節から元宵節の期間に台湾に観光旅行されることをお勧めします。

さて、今年は台湾の選挙の年、一月一六日（土）に総統・副総統選挙と立法院選挙が行われます。元来、総統・副総統選挙と立法院選挙は別々で、以前は立法院選挙は一二月に、総統・副総統選挙は三月に行われており、任期も異なっておりました。総統・副総統と立法委員の任期が、共に四年に統一されたのを機会に、選挙の効率化を図るためとして、同時

に選挙することになったのですが、総統・副総統と立法委員の就任期日は元々のままになっており、総統・副総統は五月二〇日に就任し、立法委員は二月一日に就任します。したがって、同時に選挙するのですが、その就任期日に三ヶ月余の差があるのです。総統・副総統選挙と立法院選挙の結果によつては、この三ヶ月余の間の与野党の駆け引きが注目されると思います。つまり、議会である立法院は二月の旧正月明けに新しい立法委員によつて開始されますが、野党系委員が多数になった場合、議長（立法院長）や内閣（行政院）の任命がどのようなことになるでしょうか。何故なら、五月一九日まで馬英九総統の任期が残っているからです。

この亜東新年号がお手元に届く時には、総統・副総統、立法院の選挙結果が出ていると思いますが、民意調査の状況では、野党民進党の蔡英文候補が優勢と伝えられ、八年ぶりの政権交代の可能性が大きいと伝えられています。中華民国台湾における政権交代は三度目になりますが、今回特に注目されているのは、立法院（議会）の選挙結果です。過去、立法院において、国民党が過半数を割ったことは無く、立法院の主導権は常に国民党が握っていましたが、今回どのような大きな焦点の一つです。蔡英文氏は現状維持を政策として訴えてまいりましたので、今般、政権交代となつても、従来の基本政策に大きな変化は無いものと思われまふ。注目されるのは、中国大陸との関係ですが、慎重な対応にな

るものと思います。日本との関係は、従来より非常に良い状況にあり、今後ますますの深化が期待されます。

私も亜東親善協会は、従来より、日本、中華民国台湾、その政権がどの政党であれ、常に両国の友好親善交流の発展に寄与することを旨としてまいりました。今年も、自由と民主主義の理念を共有する両国の発展を祈念し、年初のご挨拶を申し上げます。

国会見学の感想

中華民国留日東京同学会会長 張 雅婷



二〇一五年一月五日、中華民国留日東京同学会は亜東親善協会の協力を得て、国会見学を行った。今年の国会見学は、申込時から学生たちには非常に人気だった。最近台湾では政治のテーマが非常に盛り上がっているため、台湾留学生の政治への関心も喚起されたのだと私は思う。

台湾留学生は自分の実体験として、同じ民主主義制度を採択する日本の政治を観察し、台湾と比較しようとしているのだと思う。その結果申し込みは早い段階で定員を超えて、追

加募集を行った結果総計三五人の各大学からの学生が今回の見学に参加した。

今回の見学は二部に分けられる。第一部では学生たちと国会議員や亜東親善協会の関係者の方々とランチをしながら、学生が興味を持っているテーマについて交流を行う。第二部では全員が一緒に参議院のほうへ移動して政治の場を自分の目で観察しに行く。

第一部で、留学生は多くの質問をした。まとめると、質問の形式は三種類に整理できる。一つ目は、日本に関する、最近日本国内で熱く討論された議題である。例えば、安保法案、一八歳の選挙権、TPP、教科書問題などである。留学生たちは、ただ日本国内の意見を聞くだけではなく、台湾の政治と関連付けて質問をしていた。たとえば、安保法案から台湾との軍事協定、あるいは台湾のTPP参加についての意見も聞いた。二つ目は、日本の政治制度そのものについて、例えば国会議員の生活や政治環境、若者政治家を養成する制度についてである。三つ目は、台湾に対する見解を日本の国会議員に尋ねた。最近台湾で議論されているパスポートのシール問題、台湾の主権問題などに関して討論した。このほか、私たち留学生は日台関係の現状と将来性、自分が今できることや関係改善のための議員さんの努力などについてのお話も伺った。

結論として、現在の日台関係は民間交流の段階ではある

が、日華懇のような議員団体も活発に活動している。我々留学生は、留学先の日本でも台湾への帰国後も、日台関係の懸け橋になるべきである。我々の努力で、将来の日台関係はさらに良くなるであろうと信じている。

第二部で、留学生たちは亜東親善協会の同行で、参議院に見学に行った。

日本の国会の建築物は大変歴史があり、デザインも特別だと思う。私が特に面白いと思うのは議場で天皇の席があることである。この席は台湾ではないのでとても新鮮に思う。また、私も参議院で各政党のオフィスと記者会見を行うスペースを見た。それはかなり大規模で、普段想像できないものであつ



た。やはり日本は大国だと感じた。とても珍しく良い経験になった。

総じて今回の見学は盛況のうちに終わった。参加した台湾留学生が日本の関係者と日台に関する問題を議論するという貴重な機会をいただいた。一方で日本側の関係者も直接留学生から台湾若者の考えを聞くことができた。このようなイベントは日台に関する相互理解を促すという目標に資するものだと思う。この

場を借りて台湾留学生会を代表して、亜東親善協会に心よりお礼を申し上げます。これからも引き続き日台の民間交流を促進させるべく頑張ります。この度、誠にありがとうございました！



平成二七年 亜東親善協会訪台団に参加して

『台湾訪問記』 監事 鈴木 慶一

一〇月二十二日私たちは、二時間遅れで羽田を発つ、台風二十五号の影響で多少揺れたが無事台北松山空港に到着、入国手続きを済ませ一路ホテルへここで先発組と合流、慌ただしく本日の予定亜東関係協会主催の昼食会場へ張仁久秘書長の日本語での歓迎の挨拶、つづいて大江会長が返礼の辞を述べた。

時間の関係等もあり双方の自己紹介は割愛されたが有意義に終了した。

次に中国信託商業銀行 馮寄台最高顧問を表敬、馮氏は挨拶の中で大使在任中の日本での思い出、春の園遊会について触れ、又近況についても多くを語られた。

台南に将来の台湾を背負う優秀な人材を育てるために大学を設立、プロ野球チームの育成、将来は台湾シリーズの優勝を狙っている、今夕もこれから球場に向かう。

そして個人的には昨年十二月に愛する母が私に抱かれて旅立ったこと、又生前の母はワインを好み私と酒を酌み交わし乍ら語った思い出など。次の訪問先、交流協会沼田大使を表敬、最近の台湾情勢についてお話されました。初日の日程も当協会主催の粗宴を残すのみとなった、吾々は旅装を解く間もなく会場へ、ご招待のお客様をお迎えした。

台日交流聯誼会会長 李鴻鈞様

公益財団法人交流協会 沼田幹夫様

〃 〃 小松庸人様

台日交流協進会事務局長 黄 章富様

〃 〃 秘書 江畑裕美子様

大江会長の挨拶で始まりお客様の挨拶、紹介があり会は和やかに各卓共宴を盛りあげ親睦を深め、清水会員の音頭で会を締めた。

二日目、予定では立法院、観光協会への表敬訪問であるが先方の受入れ時間の都合で先に淡水地区を見学することになった。欧州の湖水地方を思わせる風光明媚な景色に一同感嘆、後髪引かれる思いで昼食会場へ向かった。午後三時から立法院、王金平院長、観光協会への表敬は亜東関係協会、張仁久秘書長の出迎を受け、案内されました。

王金平院長はご挨拶で台日交流について淡々と語られ、特に日本で開かれた故宫博物院展の開催については、大江会長のご尽力に謝意を述べられた。観光協会では本年七月に開催予定されている当協会後援の「台湾フェスティバル」への協力をお願いした。

日程の最後になってしまったが忠烈祠の献花式を式事に従い無事行なうことができた。又烈士堂本堂へ案内され歴史の一ページを勉強することができた。今回の親善訪問は日程も短く慌ただしい旅であったが所期の目的は達せられ有意義な旅でした。

団員の皆さんご苦勞様でした。



一般社団法人亜東親善協会2015年度訪華団 日程案

| | 日付 | 都市名 | 時間 | 交通機関 | 摘要 | 食事 |
|---|---------------|-------------------|-------|---------------------|----------------------------------|-----|
| 1 | 10月22日 (木) | 東京(羽田)発 台北 着 | 5:30 | | 羽田空港中華航空カウンター前集合 | |
| | | | 7:10 | 航空機 | 中華航空CI-223便にて空路、台北へ | |
| | | | 10:00 | | 松山国際機場着 | |
| | | | 10:40 | | 現地参加者台北國賓大飯店ロビー前集合 | |
| | | | 11:30 | | 亜東関係協会張仁久秘書長主催昼食会 | |
| | | | 14:30 | | 中国信託商業銀行 馮寄台国際事務最高顧問 表敬 | 昼:○ |
| | | | 16:00 | | 交流協会 表敬訪問 | |
| | | | 19:00 | | 亜東親善協会主催懇親会2階四春園廳 【台北國賓大飯店 泊】 | 夕:○ |
| 2 | 10月23日 (金) | | 9:45 | 専用車 | ホテル発 | 朝:○ |
| | | | 10:30 | | 台湾観光協 吳朝彦秘書長を表敬訪問 | |
| | | | 12:30 | | 台湾料理欣葉 | |
| | | | 15:00 | | 立法院 院長王金平殿を表敬訪問 | 昼:○ |
| | | | 18:30 | | 台日交流聯誼会 李鴻鈞会長同行 金品茶樓 | 夕:× |
| | | | | 現地徴収 【台北國賓大飯店 泊】 | 泊 | |
| 3 | 10月24日 (土) | 台北市 | 9:15 | 専用車 | ホテルにて朝食 | 朝:○ |
| | | | 12:30 | | 忠烈祠の献花予定時間未定 屋食鼎泰豊101 | 昼:○ |
| | | 松山国際機場 東京(羽田)着 | 18:15 | 航空機 | 中華航空CI-222便にて空路、帰国の途へ | |
| | | 21:55 | | 羽田空港着。 着後解散。 | | |

平成二十八年 謹 賀 新 年 (順不同)

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>台北駐日經濟文化代表處 代表 沈 斯淳</p> | <p>公益財団法人交流協會 理事長 今井 正</p> | <p>台北駐大阪經濟文化辦事處 處長 蔡 明耀</p> <p>大阪市西区土佐堀一丁目一八 日栄ビル四階 電話〇六(六四四三) 八四八一</p> | <p>台北駐日經濟文化代表處 横浜分處 處長 粘 信士</p> <p>横浜市中区日本大通り六〇 朝日生命横浜ビル二階 電話〇四五(六四一) 七七三七</p> |
| <p>台北駐大阪經濟文化辦事處 福岡分處 處長 戎 義俊</p> <p>福岡市中央区桜坂三丁目二四二 電話〇九二(七三四) 二八二〇</p> | <p>台北駐日經濟文化代表處 那霸分處 處長 蘇 啓誠</p> <p>那霸市久茂地三丁目一五一九 アルテレビル那霸六階 電話〇九八(八六二二) 七〇〇八</p> | <p>台北駐日經濟文化代表處 札幌分處 處長 陳 桎宏</p> <p>札幌市中央区北四條四丁目一番地 伊藤ビル五階 電話〇一一(二二二) 二九三〇</p> | <p>衆議院議員 前原 誠司</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二一 衆議院第一議員會館八〇九号室 電話〇三(三五〇八) 七一七一 FAX〇三(三五九二) 六六九六</p> |
| <p>環境副大臣 内閣府副大臣 衆議院議員 井上 信治</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二一 衆議院第一議員會館三二七号室 電話〇三(三五〇八) 七三二八</p> | <p>參議院自由民主政策審議會會長 參議院議員 鶴保 庸介</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二一 參議院議員會館三二二号室 電話〇三(六五五〇) 〇三二三</p> | <p>自由民主黨經理局長 衆議院議員 吉川 貴盛</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二一 衆議院第二議員會館二二〇二号室 電話〇三(三五〇八) 七四五二</p> | <p>自民黨国土交通部會長 衆議院議員 秋元 司</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目二一 衆議院第一議員會館五二四号室 電話〇三(三五八八) 五一一一 (内五〇五二四) FAX〇三(三五〇八) 三三三七</p> |

平成二十八年 謹 賀 新 年 (順不同)

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>一般財団法人台湾協会 理事長 根井 洌</p> | <p>公益財団法人全日本空手道連盟 会長 笹川 堯 東京都千代田区内幸町一―一―七 NBF日比谷ビル2F 電話〇三(五五二二)六七二一</p> | <p>日本国際協力財団名誉会長 元衆議院議員 大野 功統 東京都世田谷区東玉川一―二―一―一 電話〇三(三七二六)〇八八八</p> | <p>衆議院議員 金子 恭之^{やすし} 東京都千代田区永田町二―一―二 衆議院第二議員会館四一〇号室 電話〇三(三五〇八)七四一〇</p> |
| <p>チャイナエアラインズグループ (株)ダイナステイ ホリデー 代表取締役社長 石 炳煌 東京都中央区銀座一―九―七 陽栄銀座第二ビル五階 電話〇三(五五二四)〇八八〇</p> | <p>チャイナエアライン 日本支社長 石 炳煌 東京都千代田区内幸町一―二―一―一 日土地内幸町ビル八階 電話〇三(六三七八)八八五五</p> | <p>日本華商總會 会長兼名誉理事長 朱 文元 理事長 林 錦漫 副理事長 林 三統 薛 永台 朱 恭亮 東京都港区六本木七―五―一〇―四F 電話〇三(三三〇八)四四六八 FAX〇三(三三〇八)三三八二</p> | <p>日本中華聯合總會 会長 毛利 友次 東京都江東区亀戸九―六―一―九―二―F 電話〇三(五八三六)六五六〇 FAX〇三(五八三六)六五三六</p> |
| <p>学校法人東京国際学園 東京外語専門学校 東京国際福祉専門学校 理事長 武田 哲一 東京都新宿区西新宿七―三―一―八 電話〇三(三三六七)一一〇三</p> | <p>友盛貿易株式会社 代表取締役社長 鄭 尊仁 横浜市中区太田町二―三―一―一 電話〇四五(二二六)二二九八 FAX〇四五(二二六)二二八九</p> | <p>学校法人 横濱中華學院 校長 馮 彦國 横浜市中区山下町一四二番地 電話〇四五(六八一)三六〇八 FAX〇四五(六七二)一〇七〇</p> | <p>アジア問題懇話会 大陸問題研究協会 会長 高野 邦彦</p> |

平成二十八年 謹 賀 新 年 (順不同)

| | | | |
|--|--|---|---|
| <p>株式会社ホテル横須賀 代表取締役 長尾 和典</p> <p>横須賀市米が浜通り二一七 電話〇四六(八二五)一一一一 FAX〇四六(八二五)一一一一</p> | <p>日本資源興業株式会社 代表取締役 漢那 浩仁</p> <p>千葉県市原市松ヶ島五六番地七 電話〇四三六(六三)六七五五 FAX〇四三六(六三)六八九八</p> | <p>有後藤泌尿器科皮膚科医院 院長 後藤 康文</p> <p>岩手県宮古市大道一三二一四 電話〇一九(六二)三六三〇</p> | <p>株式会社和興産業 代表取締役 千葉 祐三</p> <p>東京都文京区千石三一四一八 サンセチア文京四〇二 電話〇三(三九四)〇〇二八 FAX〇三(三九四)〇〇二九</p> |
| <p>有限会社沖山興業 代表取締役 沖山 建夫</p> <p>東京都八丈島八丈町三根一八一一五 電話〇四九九六(二)〇一一一</p> | <p>若杉塗装店 代表者 若杉 昌孝</p> <p>和歌山市園部四四〇番地三三三 電話〇七三(四五五)九七五九 FAX〇七三(四五五)二四八九</p> | <p>金沢市日台親善議員連盟 会長 安達 前</p> <p>金沢市馬替二丁目一九〇一六 電話〇七六(二九八)三五〇三 FAX〇七六(二九八)一六六八</p> | <p>株式会社ヒューマックス 代表取締役 林 瑞祥</p> <p>東京都新宿区西新宿三二二〇一一 東京オペラシティタワー三階 電話〇三(三三三)七九 八〇三〇 FAX〇三(三三三)七九 八〇三三</p> |
| <p>新鮮で品質のよい花を FLOWER MARKET 花市場 青山店・代々木上原店 代表取締役 笹岡(朱) 恭亮</p> <p>代々木上原店 東京都渋谷区西原三二一六 電話〇三(三四六六)五四四四 FAX〇三(三四六六)五四四六 hanateichibanaet</p> | <p>株式会社永島製作所 代表取締役 永島 剛士</p> <p>石川県羽咋市寺家町タ一番九 電話〇七七(一一)七〇一一 FAX〇七七(一一)七〇一一</p> | <p>一般社団法人亜東親善協会 会長 大江 康弘</p> <p>東京都中央区銀座六―三三―一六 ウオービル五〇五 電話〇三(六二七八)八六九〇 FAX〇三(六二七八)八三三〇</p> | <p>一般社団法人亜東親善協会 副会長 張 建国</p> |

平成二十八年 謹 賀 新 年 (順不同)

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>一般社団法人亜東親善協会 専務理事 崎谷 秀彦</p> | <p>一般社団法人亜東親善協会 業務執行理事 赤松 則宏</p> | <p>一般社団法人亜東親善協会 副会長 張 碧華 東京都千代田区外神田三十七ー七 電話〇三(三二五七)〇〇三三三</p> | <p>参議院議員 山本 順三 東京都千代田区永田町二一ー一 参議院議員会館一〇一九号室 電話〇三(六五五〇)一〇一一九</p> |
| <p>あざみ野ローンテニスクラブ 代表 益山 茂 横浜市青葉区あざみ野二一ー一九一 電話〇四五(九〇一)九〇一一 FAX〇四五(九〇一)二〇四一</p> | <p>学校法人電子学園 日本電子専門学校 理事長 多 忠和 おの ただかず</p> | <p>元内閣府大臣政務官・(元衆議院議員) 一般社団法人亜東親善協会 理事 並木 正芳 埼玉県所沢市泉町一七九三ー一三 電話〇四(二九二四)八〇五〇</p> | <p>一般社団法人亜東親善協会 理事 程 金笙</p> |
| <p>東光不動産株式会社 代表取締役 山口 裕志 東京都渋谷区富ヶ谷二一ー一五 電話〇三(五七九〇)五七九〇 FAX〇三(五七九〇)五七九九</p> | <p>一般社団法人亜東親善協会 理事 柴田 徳文</p> | <p>留日東京華僑婦女会会長 呉 淑娥 練馬区中村南三二一ー二二 電話〇三(三五七七)一一一三三</p> | |

事務局だより

二〇一六「台湾フェスティバル」開催のお知らせ

二〇一六年七月三〇日(土)・三一日(日) 東京都代々木公園ではじめて「台湾フェスティバル」が開催されます。「観光・産業・芸能・文化」そして美食の国台湾ならではの「食と果実」を紹介します。日本と中華民国台湾の交流を目的に二日間限定のまさに「リトル台湾」が出現します。

「一般社団法人亜東親善協会」も今後の国際親善の推進をめざし「後援」をいたします。更なる日本と台湾の国際交流を目的に二〇一六「台湾フェスティバル」は開催されます。

場所 東京代々木公園

主催 台湾フェスティバル実行委員会

共催 日本華商総会

後援 台北駐日経済文化代表処

亜東親善協会・渋谷区

台湾観光協会・台湾文化センター

(詳しくは二〇一六年二月以降の発表となります。)

※今後のスケジュール

新年互礼会

ザ・キャピトルホテル東急

平成二八年二月一七日(水)

一七・〇〇〇 講演会

一八・〇〇〇 懇親会

定例総会及懇親会

ルポール麹町

平成二八年五月一二日(木)

一六・〇〇〇 (予定)

表題【亜東】は中華民国總統馬英九閣下の御揮毫です

季刊 **亜東** (アジアの架け橋) 平成28年 新春号 (No.56)

発行日 : 平成28年1月15日

発行所 : 一般社団法人亜東親善協会

発行人 : 大江康弘

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印刷 : ヨシダ印刷株式会社

台湾の翼 チャイナエアライン

なら、うまくいく。



ビジネスはチャイナ エアラインで
www.china-airlines.co.jp

